NTT docomo

N-04C

クイックスタートガイド　’11.3

MEDIAS

ドコモ　W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式

このたびは、「N-04C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、本書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。本書に不明な点がございましたら、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
N-04Cはお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、カレンダーなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。

FOMA端末で操作方法を確認する

アプリケーション画面で「eトリセツ（取扱説明書）」を選択すると、本FOMA端末の取扱説明書アプリケーションで操作方法などを閲覧できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

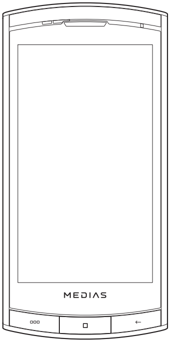
- 取扱説明書について最新の情報が掲載されています。

取扱説明書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

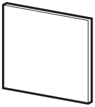
本体付属品および主なオプション品

＜本体付属品＞

N-04C
（保証書、リアカバー N53含む）

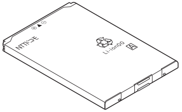


N-04Cクイックスタートガイド（本書）

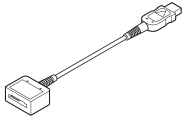


＜本体付属品＞

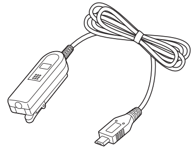
電池パック N27

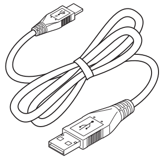
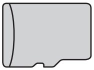


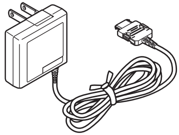
FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01



イヤホン変換アダプタ （取扱説明書付き）
（試供品）



＜本体付属品＞
PC接続用microUSBケーブル（取扱説明書付き）（試供品） 
microSDHCカード（8GB）（取扱説明書付き）※ （試供品）  ※ お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

＜主なオプション品＞
FOMA ACアダプタ 01／02 （保証書、取扱説明書付き） 

その他オプション品について→P.58

目次

N-04Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA 端末は i モードのサイト（番組）への接続や i アプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局番号）については「マイプロフィールを表示する」(P.48)をご参照ください。
- ご利用の FOMA 端末のソフトウェアバージョンについては「端末情報」（P.49）をご参照ください。
- 本 FOMA 端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。
  詳しくは「ソフトウェア更新」（P.67）をご参照ください。
- FOMA端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。
  バージョンアップ後は、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- FOMA カード（青色）をお使いの場合、海外で本FOMA端末を利用することはできません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- FOMAカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 紛失に備え、画面ロックのパスワードを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳しくは「現在地情報とセキュリティ」（P.49）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Android マーケットなどの Google サービスやTwitter、Facebook、mixiなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット（VPN設定はPPTPのみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電変換アダプタ含む）、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電変換アダプタ含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイ ロック設定を行っている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタ（充電変換アダプタ含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック･アダプタ（充電変換アダプタ含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

2.FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカード挿入口やmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止
誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止
ディスプレイの表面に、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保を目的（強化ガラスの飛散防止）とする保護フィルムがあります。
この保護フィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

保護フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

指示
自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.14「材質一覧」

指示
ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止
端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止
電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4.アダプタ（充電変換アダプタ含む）の取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタ（充電変換アダプタ含む）のコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタ（充電変換アダプタ含む）には触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電変換アダプタ含む）のコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電変換アダプタ含む）のコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

アダプタ（充電変換アダプタ含む）をコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタ（充電変換アダプタ含む）のコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

電源プラグを抜く

火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

電源プラグを抜く

火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

指示

けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。**

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

指示

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	ナイロン樹脂／UVコーティング処理
	背面側	ナイロン樹脂／UVコーティング処理
	側面加飾フレーム	アルミ合金／アルマイト着色
	底面加飾フレーム	ナイロン樹脂／UVコーティング処理
ディスプレイパネル上部加飾パネル		PC樹脂／ダイクロ蒸着、UVコーティング処理
外側カメラパネル	カメラパネル	PC/PMMA積層板／ハードコート
	カメラ周囲加飾リング	アルミ合金／アルマイト着色
ライトおよび赤外線ポートパネル		PET樹脂／ハードコート
キー	電源キー	PC樹脂／UVコーティング処理
	メニューキー	PC樹脂／すず蒸着、UVコーティング処理
	サイドキー	PC樹脂／アルミ蒸着、UVコーティング処理
着信レンズ		PC樹脂
リアカバー		PC樹脂／UVコーティング処理
外部接続端子キャップ		ポリエステル系熱可塑性エラストマー／UVコーティング処理
電池パック収納部	収納面	ステンレス合金
	内部フレーム	ナイロン樹脂
電池端子	電池端子コネクタ本体	LCP樹脂
	端子部	リンセイ銅／金メッキ処理
電池パック（端子）	電池パック本体	樹脂部：PC樹脂 ラベル：PET樹脂
	端子部	ガラスエポキシ樹脂／金メッキ処理

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電変換アダプタ含む）、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタ（充電変換アダプタ含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障、破損の原因となります。

- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子（イヤホンマイク端子）キャップをはめた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40%程度の状態をお勧めします。

アダプタ（充電変換アダプタ含む）についてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタ（充電変換アダプタ含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。**
  故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモ UIM カードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、オブジェクトプッシュ、フォンブックアクセスを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。（対応しているBluetooth機器のみ）
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

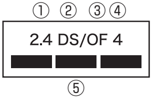


2.4 ：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH ：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1 ：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
 ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LANについて

- ●電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ●周波数帯について
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



① 2.4 ：2400MHz 帯を使用する無線設備を表します。
② DS ：変調方式が DS-SS 方式であることを示します。
③ OF ：変調方式が OFDM 方式であることを示します。
④ 4 ：想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示します。
⑤ ：2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCa リーダー／ライターについて

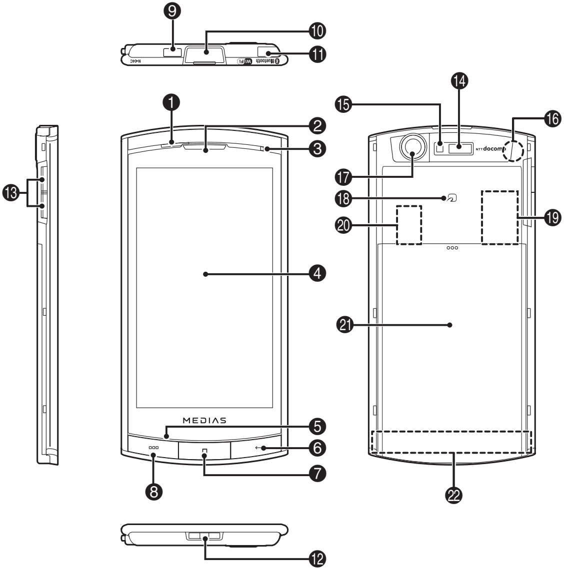
- FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊜」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



❶ **受話口（レシーバー）／スピーカー**

❷ **近接／照度センサー**
- タッチパネルの誤作動を防ぐため、通話中に顔が近づいたのを検知すると、タップが有効なアイコンを消去します。
- 周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動で調整することができます。→P.49

❸ **お知らせLED**

❹ **ディスプレイ（タッチパネル）**
- ディスプレイに表示された画面をなぞってスクロールしたり、選択したりできます。→P.28

❺ **送話口／マイク**

❻ **[←]バックキー**
- 前の画面に戻ります。

❼ **[□]ホームキー**
- 短く押すとホーム画面を表示します。
- 長く押すと、実行中のアプリケーションを一覧表示します。→P.41

❽ **[⋯]メニューキー**
- 操作中の画面のメニューを表示します。

❾ **電源キー**
- 電源のON／OFFやスリープモードにするときに使用します。

❿ **外部接続端子**
- 充電時やイヤホン接続時、パソコン接続時などに使用する統合端子です。

⓫ **ワンセグアンテナ**
- ワンセグ視聴時、電波の感度を上げたいときにアンテナを伸ばします。

⓬ **ストラップ取付穴**

⓭ **□（上）／□（下）ボリュームキー**
- スピーカーの音量を上下するときに使用します。

⓮ **赤外線ポート**
- 赤外線通信に使用します。

⓯ **ライト**
- カメラ撮影のときに、点灯させることができます。

⓰ **GPSアンテナ※**

⓱ **カメラ**
- 動画や静止画撮影のときに使用します。→P.56

⓲ **マーク**
- おサイフケータイ利用時に、このマークを読み取り機にかざします。

⓳ **ドコモUIMカードスロット**
- ドコモUIMカードを挿入します。→P.22

⓴ **microSDカードスロット**
- microSDカードを挿入します。→P.23

㉑ **リアカバー**

㉒ **FOMAアンテナ※**

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

おしらせ

◆各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

ドコモUIMカード

ドコモUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
ドコモUIMカードが本FOMA端末に取り付けられていないと、一部の機能は利用することができません。
ドコモUIMカードを挿入または取り出す前には、必ずFOMA端末の電源を切り、ACアダプタケーブルも取り外してください。

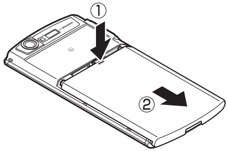
● ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PIN1コードとPIN2コードという2つの暗証番号があります。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。変更の方法について詳しくは「暗証番号とドコモUIMカードについて」（P.49）をご参照ください。

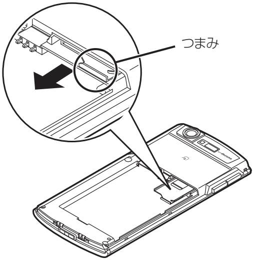
ドコモUIMカードを取り付ける

1 リアカバーを取り外す

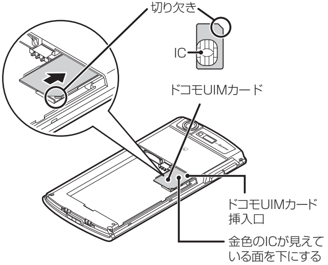
- リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、取り外します。



2 電池パックを取り出し（P.24）、トレーのつまみを引いてトレーを引き出す



3 ドコモUIMカードのIC面を下にして、トレーに乗せる



4 トレーを奥まで差し込む

ドコモUIMカードを取り外す

1 リアカバーを外し、電池パックを取り出す

2 トレーのつまみを引いてトレーを引き出し、ドコモUIMカードを取り外す

おしらせ

◆ドコモUIMカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、ドコモUIMカードが破損する恐れがあります。

microSDカード

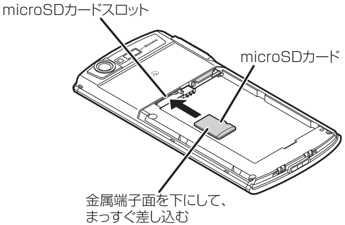
microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。

- 本FOMA端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年2月現在）。
- FOMA端末の電源を切り、リアカバーを外してから取り付け、取り外しを行ってください。

microSDカードを取り付ける

1 microSDカードスロットにmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

- microSDカードの金属端子面を下にしてゆっくりと差し込んでください。完全に奥まで差し込むとロックされます。



microSDカードを取り外す

1 microSDカードをいったん奥まで押し込み、ロックを外してから、microSDカードを取り出す

- microSDカードを押し込んで手を離すと、microSDカードが少し出てきます。
  microSDカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜きます。

電池パック

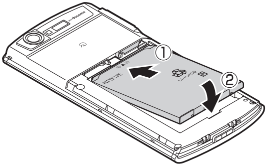
電池パックの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り付ける

1 リアカバーを取り外す（P.22）

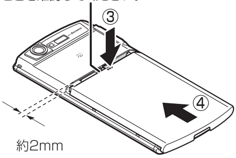
2 電池パックを取り付ける

- 電池パックの「A」と書かれた面を上にして、電池パックとFOMA端末の金属端子が合うように①の方向に取り付けて、②の方向へはめ込みます。



3 リアカバーを取り付ける

- リアカバーを約2mm開けた状態でFOMA端末の溝にあわせ、③の方向へ押し付けながら④の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。

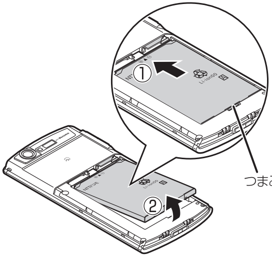


電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外す（P.22）

2 電池パックを取り外す

- 電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げ、取り外します。



充電

充電について

- 詳しくは、付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ N01、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02／FOMA海外兼用ACアダプタ01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。
  AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に取り付けた状態でないと充電できません。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間FOMA端末の電源が入らない場合があります。

● 長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電したままFOMA端末を長時間おくと、充電が終わった後FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池が切れてしまうことがあります。このようなときは、改めて正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本FOMA端末を一度FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01またはPC接続用microUSBケーブル（試供品）から外し、改めてセットしてください。

電池パックの寿命について

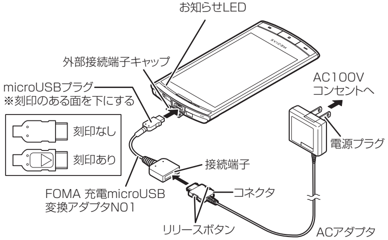
N-04C専用の電池パック N27をご利用ください。

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 環境保全のため、不要になった電池パックは NTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion00

ACアダプタで充電する

FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とFOMA ACアダプタ 01／02（別売）を使って充電する方法を説明します。



1 ACアダプタのコネクタをFOMA充電microUSB変換アダプタN01の接続端子に水平に差し込む

- コネクタの刻印がある面を下にした状態で、文字面を下にした接続端子に水平に差し込んでください。

2 FOMA端末の外部接続端子キャップを開く

3 FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01のmicroUSBプラグをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグは、刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

4 ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

- 充電中は、ステータスバーの電池アイコンがのように表示されるか、→→→→のようにアニメーション表示されます。
- 電池パックが満充電状態になると、ステータスバーの電池アイコンがになります。

5 充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から水平に取り外し、外部接続端子キャップを閉じる

6 FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01の接続端子からACアダプタのコネクタを水平に取り外す

- ACアダプタのコネクタは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。

7 ACアダプタを電源コンセントから取り外す

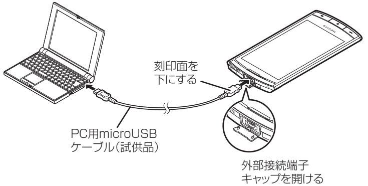
パソコンで充電する

1 FOMA端末の外部接続端子キャップを開く

2 PC接続用microUSBケーブル（試供品）のmicroUSBプラグをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSB プラグは、刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

3 PC接続用microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに水平に差し込む



4 充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から水平に取り外し、外部接続端子キャップを閉じる

5 USBプラグをパソコンのUSBポートから水平に取り外す

電源ON／OFF

電源を入れる

1 電源キーを2秒以上押し続ける

- ロック画面が表示されます。
- 「PIN1コード入力設定」が有効な場合は、電源を入れるとPINコード入力画面が表示されます。PINコードを入力して、「OK」をタップしてください。PINの入力ミスを訂正するには、をタップします。



■ はじめて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います。→P.31

2 を右端にドラッグして画面ロックを解除する

- 画面のロック解除セキュリティで画面ロック解除パターンを設定している場合は、パターンを入力することで画面ロックを解除します。
  PINまたはパスワードを設定している場合は、画面ロック解除後にロック解除セキュリティ入力画面が表示されます。
  画面のロック解除セキュリティについては「現在地情報とセキュリティ」（P.49）をご参照ください。

おしらせ

◆ロック画面は、電源を入れたとき、またはスリープモードを解除したときに表示されます。

◆画面ロックを無効にすることはできません。

● スリープモードについて

電源キーを押したときやFOMA端末を一定時間使用しなかったときは、誤動作防止と省電力のため、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。スリープモード中に電源キーまたは□を押すと、スリープモードを解除し、ロック画面を表示します。
なお、スリープモード中でも着信時は自動的にディスプレイを表示します。
ロック画面の解除については、「電源を入れる」の操作2をご参照ください。

おしらせ

◆スリープモードになるまでの時間（バックライト消灯）は設定できます。詳しくは「表示」（P.49）をご参照ください。

電源を切る

1 電源キーを1秒以上押し続ける

- 「携帯電話オプション」メニューが表示されます。

2 「電源を切る」

- 「電源を切る」メッセージが表示されます。

3 「OK」

- 電源が切れます。

基本操作（タッチパネルの使いかた）

本FOMA端末は、ディスプレイにタッチパネルを採用しており、タッチパネルに触れることでさまざまな操作が行えます。

タッチパネル利用上の注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となります。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

タッチパネルの操作

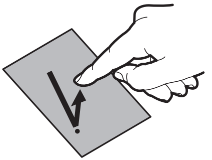
タッチパネルでは以下の操作ができます。

■タップする

画面の項目に軽く触れて実行／選択します。チェックボックスにチェックマークを付けたり外したりもできます。

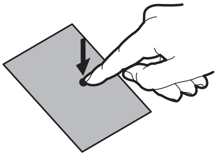
■ダブルタップする

画面に2度続けて軽く触れて、画面を拡大縮小します。



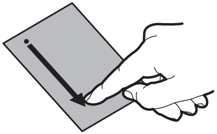
■ロングタッチ

画面の項目などに1秒以上触れてメニューを表示します。



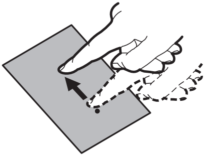
■ドラッグ

画面の項目などを指でなぞって上下にスクロールさせます。
一部のウェブページでは左右にもスクロールできることがあります。



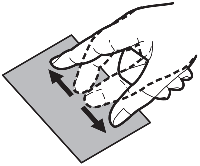
■フリック

画面をすばやくスライドさせ、指を離して画面を高速でスクロールします。スクロール中に画面をタップすると、スクロールが停止します。



■2本の指で広げる／狭める

2本の指で広げたり狭めたりすると、表示しているホームページや画像が指の動きに合わせて拡大・縮小します。



ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本FOMA端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向の切り替えなどを行うモーションセンサーに対応しています。

おしらせ

◆表示方向が自動的に切り替わらないアプリケーションもあります。
◆ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、FOMA端末を縦横に傾けても画面表示は切り替わりません。
◆ホーム画面で [▪▪▪] →「設定」→「表示」をタップし、「画面の自動回転」のチェックマークを外すと、本FOMA端末を横向き／縦向きにしても画面の表示方向が切り替わらないようにすることができます。

初期設定

はじめて電源を入れたときの設定

本FOMA端末の電源をはじめて入れたときは、FOMA端末で使用する言語やアカウントなどの設定を行います。一度設定を行うと、次回以降、電源を入れたときに設定画面は表示されません。また、ここでの設定は、後から変更できます。

1 電源キーを2秒以上押し続ける

- 「MEDIAS N-04C by NEC」が表示されます。

2 言語を選択→「次へ」→「次へ」

3 「設定」→画面に従いGoogleアカウントを設定する

- 「次へ」をタップすると設定を省略できます。

4 Googleの位置情報サービスを利用するかどうかを設定する→「次へ」

5 GPS機能を利用するかどうかを設定する→「次へ」

6 「設定する」→画面に従いおサイフケータイ機能を設定する

- 「次へ」をタップすると設定を省略できます。

7 「完了」

- 「今すぐサイトを見る」をタップするとMEDIASのオフィシャルサイトをご覧になれます。

おしらせ

◆Eメール、SNSアカウントの設定については「アカウントと同期」(P.49)をご参照ください。

◆オンラインサービスの設定は、データ接続可能な状態であること(3G／GPRS)が必要です。データ接続を可能とする方法については「無線とネットワーク」(P.49)をご参照ください。

画面表示／アイコン

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーにはFOMA端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー



● 主なステータスアイコン

アイコン	説明
	電波レベル
	圏外
	Bluetooth機能有効
	Bluetoothデバイスに接続中
	国際ローミング中
	GPRS使用可能
	3G使用可能
	GPRSによる通信中
	3Gによる通信中
	電池残量
	充電が必要
	充電中
	GPS測位中
	機内モード設定中
	ecoモード設定中
	ドコモUIMカード未挿入
	おサイフケータイ ロック設定中
	マイクがミュート状態
	マナーモード設定中（バイブレーションなし）
	マナーモード設定中（バイブレーションあり）
	スピーカーフォンON
	アラーム設定中
	Wi-Fi接続中
	データ同期中

● 主な通知アイコン

アイコン	説明
	新着Gmailあり
	新着Emailあり
	新着spモードメールあり
	新着メッセージ（SMS）あり
	メッセージ（SMS）の配信に問題あり
	新着インスタントメッセージあり

アイコン	説明
	ワンセグ視聴中
	ワンセグ録画中
	発信中または通話中
	通話保留中
	不在着信あり
	留守番電話あり
	カレンダーに設定された予定あり
	アラームがスヌーズ中
	タップサーチを実行中
	音楽を再生中
	セキュリティ設定「なし」のWi-Fiネットワークが存在する
	Bluetooth通信でファイル受信あり
	USBが接続され、USB機能(カードリーダーモード)が有効
	本体のメモリ容量不足
	赤外線通信中
	データアップロード中
	データダウンロード中、アプリケーションインストール中
	アプリケーションインストール完了
	エラーメッセージあり
	インストール済みアプリケーションのアップデートあり

アイコン	説明
	非表示の通知情報あり（数字は件数）
	VPN接続中
	VPN未接続
	ソフトウェア更新通知あり

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージや予定の通知を通知パネルから直接開くことができます。

● 通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグする

- 通知パネルが表示されます。通知パネル上部には各機能のON／OFFを切り替えるアイコンが表示され、ONの状態ではアイコンの下部が青く、OFFの状態ではアイコンの下部がグレーに表示されます。



① タップサーチを利用します。
② アイコンをタップして、各機能のON／OFFを切り替えます。
: マナーモードのON／OFF切替
: ecoモードのON／OFF切替
: GPSのON／OFF切替
: BluetoothのON／OFF切替
: Wi-FiのON／OFF切替
: LCDバックライトの明るさ切替
: アカウント自動同期のON／OFF切替
③ 在圏する事業者名称が表示されます。
④ サービスを提供する事業者名称が表示されます。
⑤ タップするとチェックマークが付いている通知情報とステータスバーの通知が消去されます。
⑥ 消去したい通知にチェックマークを付けてから⑤をタップすると消したい通知を個別に消せます。
⑦ 不在着信やダウンロードの完了などの情報が表示されます。

ホーム画面

ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加／移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。
ホーム画面は、ショートカットやウィジェットを追加するための画面が7画面用意されています。



① ウィジェット（例：クイック検索ボックス）
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。
② ショートカット
タップして、アプリケーションやFOMA端末の設定項目などを起動します。

左または右の画面の領域を表示する

1 ホーム画面を左または右にドラッグする

- 左または右の画面の領域が表示されます。

● ホーム画面のページを並べ替える

ホーム画面の順番を自由に入れ替えることができます。

1 ▦または画面下部左右のページ位置アイコンをロングタッチする

- ページサムネイル画面が表示されます。

2 並べ替えるページをロングタッチする

3 ページを移動させたい場所にドラッグし、指を離す

壁紙を変更する

1 ホーム画面をロングタッチする

- 「ホーム画面に追加」メニューが表示されます。

2 「壁紙」

3 壁紙のカテゴリーをタップする

- 「ギャラリー」をタップした場合は、壁紙として使用する画像をタップして選択してください。続けて、画面に表示された枠をドラッグすることで壁紙として使用する部分を選択し、「保存」をタップしてください。
- 「ライブ壁紙」をタップした場合は、ライブ壁紙の一覧が表示されます。いずれかのライブ壁紙をタップして選択した後、「壁紙に設定」

をタップしてください。壁紙の種類によっては、「設定」をタップすると、ライブ壁紙の設定を行うことができます。
- 「壁紙」をタップした場合は、画面上部に選択している壁紙、画面下部にサムネイルが表示されます。サムネイルはドラッグすることで左右にスクロールさせることができます。サムネイルをタップして壁紙を選択した後、「壁紙に設定」をタップしてください。

ホーム画面にショートカットを追加する

1 ホーム画面をロングタッチする

2 「ショートカット」

3 追加するショートカットの種類をタップする

4 追加するショートカットをタップする

おしらせ

◆ホーム画面で [⋯] →「追加」をタップすることで「ホーム画面に追加」メニューを表示することもできます。

◆アプリケーション画面でアイコンをロングタッチしても、ホーム画面にショートカットアイコンを追加することができます。

ショートカットアイコンを移動する

1 ホーム画面で、移動するショートカットアイコンをロングタッチする

2 そのままドラッグし、移動先で指を離す

ホーム画面にフォルダを作成する

1 ホーム画面をロングタッチする

2 「フォルダ」

3 作成するフォルダの種類をタップする

フォルダにショートカットを追加する

1 ホーム画面で、フォルダに追加するショートカットアイコンをロングタッチする

2 そのままフォルダにドラッグして指を離す

3 フォルダをタップする

- フォルダのウィンドウが開き、ショートカットアイコンがフォルダに追加されたことを確認できます。

フォルダの名前を変更する

1 名前を変更するフォルダをタップする

- フォルダのウィンドウが開きます。

2 タイトルバーをロングタッチする

- 「フォルダ名を変更」メニューが表示されます。

3 設定する名称を入力して「OK」

- フォルダの名前が変更されます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

1 ホーム画面をロングタッチする

2 「ウィジェット」

3 追加するウィジェットをタップする

ホーム画面のアイコンを削除する

1 ホーム画面で、ショートカットアイコン、フォルダ、またはウィジェットをロングタッチする

2 画面下部のゴミ箱アイコンへドラッグし、アイコンが赤色に変わったら指を離す

アプリケーション画面

アプリケーション画面では、本FOMA端末にインストールされているアプリケーションを一覧表示します。
また、ホーム画面に配置できるウィジェットも一覧表示できます。

アプリケーションを開く

1 ホーム画面で[アプリケーションアイコン]

- 画面を上下にドラッグまたはフリックすると、画面をスクロールできます。

2 アイコンをタップする

- タップしたアイコンのアプリケーションが開きます。

おしらせ

◆アプリケーションのアイコンをロングタッチすると、ホーム画面にアプリケーションのショートカットアイコンを配置できます。

● アプリケーションをアンインストールする

アプリケーション画面からアイコンを選択し、アプリケーションをアンインストールすることができます。

1 アプリケーション画面で[…]→「削除」

- 削除できるアプリケーションアイコンの右上に[削除アイコン]が表示されます。

2 [削除アイコン]→「OK」

アプリケーション一覧

アイコン	アプリケーション	説明	参照ページ
	電話	電話をかけることができます。	P.46
	連絡先	電話番号やメールアドレスを登録し、簡単な操作で連絡できます。また、TwitterなどのSNSの更新情報や、やり取りの履歴を表示したりできます。	P.47
	ブラウザ	ウェブページを閲覧できます。	P.54
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます。	P.57
	spモードメール	ｉモードのメールアドレスを使って、メールの送受信ができます。	P.53
	Gmail	Googleアカウントのメールの送受信ができます。	P.53
	メール	登録したアカウントのメールの送受信ができます。	P.51
	メッセージ	SMSの送受信ができます。	－
	カメラ	静止画を撮影できます。	P.56
	ビデオカメラ	動画を撮影できます。	P.56
	テレビ	ワンセグ放送を視聴できます。	P.57
	YouTube	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。	－
	マーケット	Androidマーケットを利用できます。	P.57
	ドコモマーケット	ドコモマーケットを利用できます。	P.57
	andronavi	NECビッグローブが運営するAndroid端末向け情報配信サイト「andronavi」を利用できます。	－

アイコン	アプリケーション	説明	参照ページ
	設定	FOMA端末の各種設定を行うことができます。	P.49
	ギャラリー	撮影した静止画や動画などを閲覧できます。	P.56
	音楽	microSDカードに保存した音楽を再生できます。	P.56
	カレンダー	カレンダーを表示したり、予定を登録したりできます。	−
	時計	時刻や天気予報の表示、アラームの設定ができます。	−
	検索	検索ワードを入力し、FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。	−
	Quickoffice	microSDカードに保存されているドキュメントを表示できます。	−
	Voice Search	音声を認識し、ブラウザでGoogle検索を行います。	−
	電卓	電卓を利用できます。	−
	マップ	現在地や目的地の表示、目的地への経路検索などができます。	−
	ナビ	目的地への音声ナビゲーションなどができます。	−
	Latitude	地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。	−
	プレイス	現在地の近くのレストランやカフェなどの目的地を簡単に探すことができます。	−
	Evernote Launcher	ウェブページやメモなどさまざまな情報を保存し、いろいろな端末で閲覧できるサービス「Evernote」の紹介、および「Evernote for Android」をダウンロードするための操作を行えます。	−
	BeeTV	番組配信サイト「BeeTV」を利用できます。	−

アイコン	アプリケーション	説明	参照ページ
	E★エブリスタ	ケータイ総合雑誌「E★エブリスタ」のサイトに接続できます。	–
	BOOKストア2Dfacto	小説やコミックなど、本の検索・購入が簡単にできます。	–
	ついっぷる	ついっぷるを利用し、Twitterを簡単に利用できます。	–
	トーク	Google トークを利用してチャットができます。	–
	ニュースと天気	ニュースと天気の情報を閲覧できます。	–
	電話帳バックアップ	連絡先のデータを電話帳バックアップセンターにバックアップすることができます。	–
	トルカ	トルカの表示、検索、更新ができます。	–
	ATOK	文字入力についての設定や、辞書の登録などができます。	P.44
	電話帳コピーツール	FOMA端末とmicroSDカードの間で連絡先データをコピーできます。	–
	iD設定アプリ	クレジット決済を利用した電子マネー「ｉD」の設定ができます。	–
	取扱説明書	本FOMA端末の基本的な使いかたを確認することができます。	–

おしらせ

◆このアプリケーション一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。
◆アプリケーションの最新版は、マーケットなどからダウンロードすることができます。
◆メジャーアップデートを行うと、アプリケーションの内容やアイコンの位置が変わることがあります。
◆アプリケーションによっては、アイコンの下に名前が最後まで表示されない場合があります。

タスク管理

起動中のアプリケーションを一覧で表示し、操作画面に切り替えることができます。また、不要なアプリケーションを終了させることもできます。

※ 複数のアプリが同時に起動していると、電池の消耗が早くなるほか、端末が不安定になりアプリケーションが強制終了したり、動作速度が低下することがあります。

1 □を1秒以上押す

- 起動中のアプリケーション一覧が表示されます。

2 切り替えたいアプリケーションをタップする

■ アプリケーションを終了する場合

→終了したいアプリケーションの✕をタップする

■ すべてのアプリケーションを終了する場合

→「全てのアプリを終了する」→「はい」

文字入力

本FOMA端末では、タッチパネルに表示されるキーボードで文字を入力することができます。

文字入力について

画面上のテキストボックスをタップすると、タッチパネルにキーボードが表示されます。本FOMA端末の日本語入力では、テンキーとフルキーの2種類のATOKキーボードを切り替えて使用できます。

● テンキーソフトウェアキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。ケータイ入力、ジェスチャー入力、フリック入力の3種類の入力方式から選択できます。



■ケータイ入力

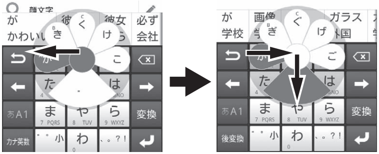
入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されます。タップした指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／小文字を入力するには、キーをタップした指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／小文字のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

  <例：「が」を入力する場合>



●英数字入力モードの場合は、キーをタップした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

■**フリック入力**

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。タップした指を離さず目的の方向にフリックします。

●濁音／半濁音／小文字を入力するためには、フリックしたあと゛゜小を1回または2回タップします。

● フルキーソフトウェアキーボード

日本語は、ローマ字入力で入力します。



おしらせ

◆ソフトウェアキーボードの種類を切り替える方法については、「キーボードを切り替える」（P.43）をご参照ください。

● テンキーソフトウェアキーボードで入力する

以下のアイコンをタップすると、文字種の変更など入力操作の切り替えができます。

アイコン	説明
⮌	タップすると入力中の文字を逆順に表示します。 確定した後は 戻す になり、タップすると一つ前に確定した文字を変換前の文字に戻します。
⌫ ／ CLR	「文字削除キー」で設定したキーが表示されます。→P.44 タップするとカーソルの前または後ろにある文字を削除します。
← ／ →	左右へカーソルを移動します。ロングタッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。
あA1	タップするごとにひらがな入力モード・英字入力モード・数字入力モードに切り替わります。 ロングタッチすると「ATOKメニュー」を表示します。
␣	スペースを入力します。
変換	入力中の文字を変換します。
⌨	文字入力方法をフルキーソフトウェアキーボードに変更します。（P.43） タップするごとにテンキーソフトウェアキーボード・フルキーソフトウェアキーボードが切り替わります。 ロングタッチすると文字コード／定型文／顔文字／記号の入力を選択できるパネルが表示されます。（P.43）
後変換	タップすると、かな／カタカナや全角／半角に変換できます。
↵	入力中の文字の確定や改行で使用します。
次へ	連絡先など次のテキストボックスがあるときに表示され、タップすると次のテキストボックスに移動して文字の入力ができます。
実行	ウェブページや検索ワードの入力のときなどに表示され、タップすると入力したテキストボックスの機能を実行します。

おしらせ

◆キーボードが不要な場合は、[…]を1秒以上押すと閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップまたは[…]を1秒以上押してください。

● キーボードを切り替える

1 [キーボード]

・キーボードが切り替わります。

● フルキーソフトウェアキーボードで入力する

以下のアイコンをタップすると、文字種の変更など入力操作の切り替えができます。

アイコン	説明
[⇧]	1回タップすると次に入力する文字が大文字になります。2回タップすると入力を大文字で固定します。
[⌫]	タップするとカーソルの前にある文字を削除します。
[キーボード]	文字入力方法をテンキーソフトウェアキーボードに変更します。（P.42） タップするごとにフルキーソフトウェアキーボード・テンキーソフトウェアキーボードが切り替わります。 ロングタッチすると文字コード／定型文／顔文字／記号の入力を選択できるパネルが表示されます。（P.43）
あA	タップするごとにひらがな入力モード・英字入力モードが切り替わります。ロングタッチすると「ATOKメニュー」を表示します。
[␣]	スペースを入力します。
変換	入力中の文字を変換します。
記号	タップすると次に文字入力するまで、キーボードが記号入力用になります。
[←]／[→]	左右へカーソルを移動します。ロングタッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。
[↵]	入力中の文字の確定や改行で使用します。
次へ	連絡先など次のテキストボックスがあるときに表示され、タップすると次のテキストボックスに移動して文字の入力ができます。
実行	ウェブページや検索ワードの入力のときなどに表示され、タップすると入力したテキストボックスの機能を実行します。

● 文字コード／定型文／顔文字／記号を入力する

1 [キーボード]をロングタッチする

2 タップした指を離さずに文字コード／定型文／顔文字／記号までスライドする→入力する文字を選択する

おしらせ

◆spモードメールのときは絵文字も選択できます。

● Androidキーボードに切り替える

Androidキーボードに切り替えて文字を入力することもできます。

- Androidキーボードは日本語入力に対応していません。

1 テキストボックスをロングタッチする

2 「入力方法」→「Androidキーボード」

■ ATOKキーボードに切り替える場合

→「ATOK」

ATOKを設定する

文字入力画面で あA1 または あA をロングタッチして、ATOKメニュー→「ATOKの設定」を選択すると、ATOKでの文字入力に関する設定を変更できます。

項目	説明
ソフトウェアキーボード	
キー操作音	チェックマークを付けると文字を打つとき、キーをタップするたび音が鳴ります。
キー操作バイブ	チェックマークを付けると文字を打つとき、キーをタップするたび振動します。
入力方式	テンキーソフトウェアキーボード使用時の文字入力方式を選択します。 入力方式についてはP.41をご参照ください。
トグル入力	「ケータイ入力以外でもトグル入力する」を有効にすると、ジェスチャー入力、フリック入力でもトグル入力が可能になります。 「自動カーソル移動を行う」を有効にすると、一定時間入力しなければカーソルが右に移動します。有効にした場合はカーソルが移動するまでの時間も設定します。「自動カーソル移動を行う」の設定は、入力方式がケータイ入力となっている場合、もしくは「ケータイ入力以外でもトグル入力する」が有効になっている場合に限り、連動して動作します。
文字削除キー	「BS」を選択すると をタップしたときカーソルの左の文字が削除、「CLR」を選択すると、CLR をタップしたときカーソルの右の文字が削除されます。
ジェスチャーガイド	チェックマークを外すとジェスチャー入力時にガイドを表示しません。 チェックマークを付けるとガイドが表示されます。また、ガイドが表示されるまでの時間を設定できます。 入力方式に「ジェスチャー入力」を指定した場合のみ項目設定できます。
フリック感度	フリック入力で文字を打つときの文字選択の感度を設定します。
入力・変換	
推測変換	チェックマークを付けると、文字入力時に推測候補を表示します。

項目	説明
未入力時の推測候補表示	推測変換にチェックマークが付いている場合に選択できます。 チェックマークを付けると入力した語句の次に続く単語を推測して、候補を表示します。
自動スペース入力	英語入力モード設定時に単語を確定すると自動的にスペースを挿入します。
学習データの初期化	すべての学習データを初期化します。 絵文字・顔文字・記号入力パネルの履歴も初期化されます。
デザイン	
文字サイズ	変換候補の文字サイズを選択します。
表示行数（縦画面）	縦画面表示での変換候補の表示される行数を選択します。
表示行数（横画面）	横画面表示での変換候補の表示される行数を選択します。
ツール	
辞書ユーティリティ	ユーザー登録単語データの管理をします。
定型文ユーティリティ	ユーザー定型文データの管理をします。

● ATOK設定を初期化する

ATOKの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 ATOKの設定画面で「設定の初期化」→「OK」

おしらせ

◆設定の初期化をしても、学習データや追加したユーザー辞書の単語、定型文は初期化されません。

電話

電話をかける／受ける

電話をかける

1 ホーム画面で

2 電話番号を入力→

- 電話番号の入力を誤った場合は、 をタップすることで消去できます。

● 緊急電話をかける

1 ホーム画面で

2 緊急電話番号である110番（警察）、119番（消防と救急）、118番（海上保安庁）を入力 →

おしらせ

◆PINロックを設定している場合、機内モード中に緊急呼発信をする際は、PINロックを解除する操作が必要となります。

◆画面ロックを設定している場合、解除パターン入力画面やPINコード入力画面ではパスワードの入力を行わなくても緊急通報は可能です。それぞれの入力画面で「緊急通報」をタップしてください。「緊急通報」画面が表示され、緊急電話番号にだけ電話をかけることができます。

◆日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番／119番／118番に接続できません。

◆日本国内では、電源ON時のPINコード入力画面から「緊急通報」をタップしても、110番／119番／118番に接続できません。

● 通話を終了する

1 通話中に

電話を受ける

1 電話がかかってきたら を右端にドラッグする

通話中の操作

通話音量を調整する

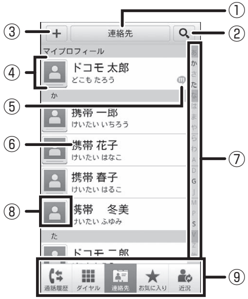
1 通話中に▯（上・音量大）／▯（下・音量小）

連絡先

連絡先の電話番号、Eメールアドレス、インターネット上のSNS（Twitter、Facebook、mixi）のアカウントなどの情報を登録できます。

連絡先を表示する

1 ホーム画面で → 「連絡先」タブをタップする



① タップするとグループ名の一覧が表示されます。グループを選択すると選択したグループに所属する連絡先を表示します。
② 文字を入力して連絡先を検索します。→P.47
③ 連絡先を新規登録します。→P.47
④ 自分のプロフィールが表示されます。タップするとプロフィールの詳細を表示します。→P.48
⑤ 連絡先に登録してあるSNSのアイコンが表示されます。
⑥ 連絡先の名前です。
⑦ インデックスバーです。
⑧ 連絡先に登録してある画像です。
⑨ タブを選択してタップすると、画面を切り替えます。

● 連絡先を編集する

1 編集する連絡先をロングタッチする→「編集」

2 変更する項目をタップする→内容を入力→「保存」

● 連絡先に発信する

1 連絡先をタップする

2 発信する電話番号をタップする

● 連絡先を新規登録する

1 連絡先画面で ＋

- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。

2 内容を入力→「保存」

● 連絡先を検索する

1 連絡先画面で をタップする

2 キーワードを入力→候補として表示された連絡先の名前をタップする

マイプロフィールを表示する

お客様のドコモUIMカードに登録されている電話番号を表示できます。また、お客様自身でメールアドレスなどの情報を登録できます。

1 ホーム画面で → 「連絡先」タブをタップする

2 「マイプロフィール」データをタップする

■ マイプロフィールを編集する
→マイプロフィール画面で →変更する項目をタップ→内容を入力→「保存」

通話履歴

● 通話履歴を利用して電話をかける

1 ホーム画面で

2 「通話履歴」タブをタップする

3 相手の名前または電話番号の右にある をタップする

- 呼び出しが行われます。

おしらせ

◆「通話履歴」タブでいずれかの名前または電話番号をタップまたはロングタッチすることで、メニューが表示されます。そこで、「～に発信」をタップすることで電話をかけることもできます。

● 通話履歴の電話番号を連絡先に登録する

通話履歴の中で、連絡先として登録されていないものを登録できます。

1 「通話履歴」タブで電話番号をロングタッチする

- メニューが表示されます。

2 「連絡先に追加」

3 「連絡先を新規登録」

- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。
- すでに登録されている連絡先に登録する場合は、連絡先を選択します。

4 情報を入力して「保存」

各種設定

設定メニュー

本FOMA端末では、ホーム画面で[…]→「設定」をタップすると、さまざまな設定を行う「設定」画面が表示されます。ここで表示されるメニューは以下の通りです。

項目	内容
無線とネットワーク	各種ネットワークに関する設定を行います。
通話設定	各種ネットワークサービスに関する設定を行います。
音	着信音の種類や音量、マナーモード、バイブレータなどの設定を行います。
表示	画面の明るさやアニメーションなど表示に関する設定を行います。
ecoモード	ecoモードに関する設定を行います。
現在地情報とセキュリティ	GPSや画面ロック、おサイフケータイのロック、PINロック、パスワードの設定などを行います。
アプリケーション	アプリケーションに関する設定を行います。
アカウントと同期	アカウントおよび同期に関する設定を行います。
プライバシー	FOMA端末内のデータのバックアップや復元を設定したり、すべてのデータの消去を行います。
SDカードと端末容量	microSDカードの状態表示、マウント解除、フォーマット、内部メモリの空き容量表示などを行います。
検索	検索の設定や検索候補へのショートカットの削除操作を行います。
言語とキーボード	本FOMA端末の使用言語やキーボードの設定を行います。
音声入出力	音声認識装置の設定やテキストの読み上げに関する設定を行います。
ユーザー補助	ダウンロードしたユーザー補助アプリケーションを使用可能にするかどうかの設定を行います。ユーザー補助アプリケーションは、マーケットなどからダウンロードできます。
日付と時刻	日付や時刻に関する設定を行います。
端末情報	本FOMA端末に関する各種情報を表示します。

おしらせ

◆バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。

● 暗証番号とドコモUIMカードについて

本FOMA端末を便利で安全にお使いいただくため、本FOMA端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途に応じて上手に使い分けて、本FOMA端末をご活用ください。

おしらせ

- ◆本FOMA端末に設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」など容易に推測できる番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- ◆暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ◆暗証番号を忘れてしまった場合は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類や本FOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- ◆PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

● ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンで新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

おしらせ

- ◆「My docomo」については、本書裏面の裏側をご覧ください。

● PIN1コード／PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。
PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

おしらせ

- ◆本FOMA端末ではPIN2コードは利用できません。
- ◆別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを本FOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- ◆PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

● PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

メール／インターネット

Eメール

mopera Uや一般のサービスプロバイダが提供するEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で▦→「メール」

- 「メールアカウントの登録」画面が表示されます。

2 メールアドレスとパスワードを入力する

3「次へ」

- 以降は画面に従って設定してください。

Eメールを開く

1 ホーム画面で▦→「メール」

- 「受信トレイ」画面が表示されます。

おしらせ

◆複数のメールアカウントを設定している場合は、「受信トレイ」画面で[…]→「アカウント」をタップし、登録しているアカウントをタップして切り替えることができます。

Eメールを作成する／送信する

1「受信トレイ」画面で[…]→「作成」

- 「作成」画面が表示されます。

2「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する

3「件名」ボックスに件名を入力する

4「メッセージを作成」ボックスにメッセージを入力する

- ファイルを添付する場合は、[…]→「添付ファイルを追加」→ファイルを選択します。添付ファイルを選択するアプリケーションをタップします。

5「送信」

- 下書き保存する場合は、[…]→「下書き保存」をタップします。

おしらせ

◆「To」ボックスの右側に❗が表示された場合、無効なメールアドレスが指定されています。入力内容を確認して修正してください。

◆CcまたはBccで送信するには「作成」画面で[…]→「Cc/Bccを追加」をタップします。「作成」画面に「Cc」ボックスと「Bcc」ボックスが表示されます。

Eメールを受信する／表示する

● Eメールを表示する

1 「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする

おしらせ

◆「メール」アプリケーションを開くことで、メールサーバーに自動的に接続し、新着メールがあれば受信して「受信トレイ」画面に追加されます。

●「受信トレイ」画面を更新する

1 「受信トレイ」画面で[…]→「更新」

- 新着メールがある場合は受信し、「受信トレイ」に表示されます。

Eメールを返信する／転送する

受信したメールに返信したり、送信者以外の相手に転送することもできます。

● Eメールを返信する

1 受信したメールの内容が表示された状態で「返信」

2 「メッセージを作成」ボックスをタップ→メッセージを入力する→「送信」

おしらせ

◆受信したメールの内容が表示された状態で[…]→「返信」をタップすることで「作成」画面を表示することもできます。

◆「作成」画面の1番上の「To」ボックスは、送信相手のメールアドレスを指定します。ここには、送信者のメールアドレスが表示されますが、カンマの後に別のメールアドレスを入力すると、送信者以外にも同報送信できます。

● Eメールを全員に返信する

1 受信したメールの内容が表示された状態で「全員に返信」

2 「メッセージを作成」ボックスをタップ→メッセージを入力する→「送信」

おしらせ

◆受信したメールの内容が表示された状態で[…]→「全員に返信」をタップすることで「作成」画面を表示することもできます。

● Eメールを転送する

1 受信したメールの内容が表示された状態で[…]→「転送」

- 「作成」画面が表示されます。

2 「To」ボックスをタップ→転送相手のメールアドレスを入力する

3 「メッセージを作成」ボックスをタップ→メッセージを入力する→「送信」

Eメールを削除する

1 受信したメールの内容が表示された状態で「削除」

おしらせ

◆「受信トレイ」画面で削除するメッセージをロングタッチするとメニューが表示されます。ここで「削除」をタップすることで削除することもできます。

アカウントを追加する

「メール」アプリケーションでは、複数のアカウントを登録して利用することができます。

1 「受信トレイ」画面で［…］→「アカウント」

2 ［…］→「アカウントを追加」

- 「メールアカウントの登録」画面が表示されます。

3 画面の表示に従い設定を行う

Eメールの設定を変更する

1 「受信トレイ」画面で［…］→「アカウントの設定」

- 「アカウントの設定」画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

全般設定	アカウント名、名前、署名、新着メールを確認する頻度、どのアカウントを優先アカウントにするかなどを設定します。
通知設定	新着メール受信時の通知、メール受信時の着信音／バイブレーションなどを設定します。
サーバー設定	受信／送信サーバーの設定を行います。

spモードメール

iモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

1 ホーム画面で▦→「spモードメール」

- はじめてご利用される際には、利用規約に同意の上、アプリケーションをダウンロードし、初期設定を行う必要があります。

おしらせ

◆アプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかる場合があります。

Gmail

Googleアカウントをお持ちの場合は、Gmailを利用してメールが送受信できます。Googleアカウントをお持ちでない場合は、アカウントを取得することで使用できます。

1 ホーム画面で▦→「Gmail」

おしらせ

◆Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。

ウェブブラウザ

ブラウザを利用することで、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。

ブラウザを開く

1 ホーム画面で→「ブラウザ」

おしらせ

◆メールやメッセージ（SMS）などに含まれるウェブページのリンクをタップして、リンク先のウェブページを閲覧することもできます。
◆パソコン用に作成されたウェブページを表示すると、最初は全体表示されますが、表示を拡大／縮小したり、スクロールできます。詳しくは「タッチパネルの操作」（P.29）をご参照ください。
◆ウェブページの操作は、ウェブサイトの形式や内容によって異なる場合があります。
◆FOMA端末に内蔵されたFlash Playerに対して最新版のアップデートプログラムがインストールされていないとウェブコンテンツを閲覧できない場合があります。マーケット（P.57）に接続の上、Flash Playerの更新情報を確認してください。

ウェブページを表示する

ウェブページを表示するには、URLを指定する方法と、文字を入力または音声入力して検索する方法があります。

● ウェブページを表示する

1 ブラウザ画面の検索ボックスをタップする



2 ウェブページのURLを入力する

• 入力が完了する前でも、入力した文字に一致するウェブページの候補や検索候補がリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップするか、URLを最後まで入力して→

• 指定したURLのウェブページが表示されます。

おしらせ

◆ウェブページの表示を中止するには、×をタップするか、[…]→「停止」をタップします。
◆ブラウザ画面で[…]→「再読み込み」をタップすると、ウェブページの表示を更新できます。
◆ブラウザ画面で[…]→「その他」→「ページを共有」をタップすると、ウェブページのURLをメールで送信したり、他のアプリケーションで利用できます。

● 文字を入力してウェブページを検索する

1 検索ボックスをタップする

2 検索する文字を入力する

- 入力が完了する前でも、入力した文字の検索語を含むウェブページがリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップするか、文字を最後まで入力して→

● ウェブページをスクロールする

1 ブラウザ画面をスクロールする方向にドラッグする

- 表示しているウェブページによっては、上下左右にスクロールできる場合もあります。

● ウェブページの表示を拡大／縮小する

1 ブラウザ画面をドラッグする

- が表示されます。

2 または

おしらせ

◆操作時の表示が最小または最大の場合、またはがグレー表示となり、利用できません。

● 特定の箇所を拡大／縮小する

1 拡大したい部分を２本の指で広げる

- 操作を開始した位置を中心に拡大表示されます。

2 縮小したい部分を２本の指で狭める

- 縮小表示されます。

おしらせ

◆ウェブページによっては、拡大／縮小できない場合があります。

マルチメディア／ファイル管理／アプリケーション

マルチメディア

● カメラ

連写機能やオートフォーカス機能を利用して静止画を撮影することができます。また、静止画だけでなく動画も撮影することができます。撮影した静止画や動画は、microSDカードに保存されます。

● ギャラリー

「ギャラリー」では、microSDカードに保存されている静止画や動画ファイルを閲覧することができます。

● 音楽

「音楽」では、microSDカードに保存されている音楽ファイルを再生することができます。また、お気に入りのプレイリストを作成したり、アーティストで検索して音楽を再生することもできます。

ファイル管理

● 赤外線通信

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、連絡先を送受信することができます。

- 連絡先、マイプロフィールのデータを送受信できます。

● Bluetooth

FOMA端末とBluetoothデバイスをワイヤレスで接続し、データをやり取りできます。

- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本FOMA端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

● パソコン接続

FOMA端末とパソコンをPC接続用microUSBケーブル（試供品）で接続すると、FOMA端末のmicroSDカードをマスストレージとして認識させてデータをやり取りすることができます。

アプリケーション

● マーケット

Androidマーケットに接続して、さまざまなアプリケーションをFOMA端末にダウンロードすることができます。

- アプリケーションのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実行してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- マーケットについての情報が必要な場合には、マーケットを開いた状態で［…］→「ヘルプ」をタップします。

● ドコモマーケット

ドコモマーケットでは、ドコモがお勧めするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

● ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記のホームページでご確認ください。

社団法人　デジタル放送推進協会

http://www.dpa.or.jp/

● おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード《スマートフォン》編）』をご覧ください。

付録

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック N27
- リアカバー N53
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01
- FOMA ACアダプタ 01※／02※
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※
- キャリングケース 02
- FOMA DCアダプタ 01※／02※
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- ワイヤレスイヤホンセット P01
- FOMA 補助充電アダプタ 02※
- FOMA乾電池アダプタ 01※
- 骨伝導レシーバマイク 02
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01

※ FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01が必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。→P.67
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。
- FOMA端末の現象は、カテゴリー別に分類して記載しています。

● 電源

FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.23
- 電池切れになっていませんか。

● 充電

充電ができない（お知らせLEDが点灯しない／点滅する）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.23
- アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。→P.25
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタ(別売)をご使用の場合、FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタ（別売）、およびFOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とFOMA端末が正しく接続されていますか。→P.25
- PC接続用microUSBケーブル（試供品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、そのほか機能の操作を長時間行うと、FOMA 端末の温度が上昇して、充電を停止する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

● 端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- 操作中や充電中、また、充電しながらカメラ機能やワンセグ視聴／録画などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●カメラ機能やワンセグ視聴／録画を長時間行うと、FOMA 端末が温かくなり、カメラ／ワンセグが終了することがあります。しばらくたってから、カメラ／ワンセグをご利用ください。

電池の使用時間が短い

●圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。
圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。

●電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。

●電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。→P.25

電源断・再起動が起きる

●電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

キーを押しても動作しない

●画面ロックされていませんか。→P.27

タップしても正しく操作できない

●手袋をしたままで操作していませんか。

●爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか。

タップしたとき、キーを押したときの画面の反応が遅い

●FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカード間で容量の大きいデータをやり取りしたときなどに起こる場合があります。

ドコモUIMカードが認識されない

●ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.22

時計がずれる

●長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。
日付と時刻の「自動」がオンになっていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

● 通話

着信音が鳴らない

●マナーモードを設定中ではありませんか。

●留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。

●着信音量を消去に設定していませんか。

「」の表示が出て電話がかけられない

●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。→P.32

通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）
- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。
- 電波の性質により、アンテナマークが表示されている状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。

● 画面

ディスプレイが暗い
- 電池が少なくなっていませんか。
- 「バックライト消灯」の設定時間が経過していませんか。
- 「画面の明るさ」の調整を変更していませんか。
- ecoモードを設定していませんか。

● 音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
- 受話音量を変更していませんか。

● カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを「接写」に切り替えてください。
- 手ブレ補正が「OFF」になっていませんか。
- オートフォーカスを「OFF」で撮影していませんか。
- 人物を撮影するときは、オートフォーカスを「顔検出」に切り替えてください。

● ワンセグ

ワンセグの視聴ができない
- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。
- チャンネル設定をしていますか。

● おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない
- FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。
- おサイフケータイ ロックの設定をしていませんか。

- 電池パックを取り外すと、おサイフケータイ ロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなる場合があります。おサイフケータイを利用するには一度電源を入れてください。

● 海外利用

海外でFOMA端末が使えない（アンテナマークが表示されている場合）
- WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
  WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

海外でFOMA端末が使えない（「 」が表示されている場合）
- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
  利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。
  「ネットワークモード」を「 自動（WCDMA／GSM)」に設定してください。
  「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください。
- FOMA端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。

海外でデータ通信ができない
- 「データローミング」の設定をONにしてください。

海外で利用中に、突然FOMA端末が使えなくなった
- 利用停止目安額を超えていませんか。
  「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

● データ管理

データ転送が行われない
- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない
- microSDカードを挿入し直してください。→P.23

● 赤外線通信

連絡先のデータを全件受信できない

- 本体のメモリに空き容量はありますか。
  受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

● Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

- Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

エラーメッセージ

「SIMカードはPUKでロックされています。」

- PIN1 コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。「緊急通報」をタップして、キーパッドで「＊＊05＊[PUKコード]＊[新しいPIN]＊[新しいPIN] #」と入力してください。→P.50
- PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりドコモUIM カードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。→P.50

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※ 本FOMA端末は、電話帳のデータをmicroSDカードにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：受話口部、送話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。

おしらせ

◆ソフトウェア更新は、FOMA 端末に登録された連絡先、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要なmicroSDカードの空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア書き換え中は、電話の発信／着信など、その他の機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信などが可能です）。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）へSSL／TLS通信を行います。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「メジャーアップデート　書換えに失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。

- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェア更新を起動する

● パケット通信を使って更新する場合

FOMA端末に直接ソフトウェアをダウンロードします。

1 FOMA端末にmicroSDカードを挿入する

- ソフトウェアのダウンロードはmicroSDカードを経由して行うため、あらかじめmicroSDカードを挿入しておく必要があります。

2 ホーム画面で[…]→「設定」→「端末情報」→「メジャーアップデート」→「更新を開始する」→「ネットワークを利用して更新」

- このあとは画面の指示に従って操作してください。

おしらせ

◆次の場合はソフトウェアを更新できません。

- 圏外にいるとき
- 国際ローミング中
- 機内モード中

◆ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。

※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。

● パソコンを使ってmicroSDカード経由で更新する場合

1 メーカーサイト（MEDIAS NAVI）から、パソコンを使ってmicroSDカードに更新するソフトウェアを取り込む

2 ソフトウェアを取り込んだmicroSDカードを本FOMA端末に挿入する

3 ホーム画面で[…]→「設定」→「端末情報」→「メジャーアップデート」→「更新を開始する」→「SDカードを利用して更新」

- このあとは画面の指示に従って操作してください。

ソフトウェア更新が必要かどうかを確認する

● 更新が必要かどうかを定期的に自動で確認する

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「端末情報」→「メジャーアップデート」→「更新を定期的に確認する」

- チェックボックスにチェックマークを入れます。

● 更新が必要かどうかをいますぐ確認する

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「端末情報」→「メジャーアップデート」→「更新の確認」

- このあとは画面の指示に従って操作してください。

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種N-04Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.469W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します。※2 NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ　http://www.n-keitai.com/lineup/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された局所吸収指針委員会にて審議している段階です。（平成23年2月現在）

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.00W/kg, and when worn on the body, is 0.80W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at https://gullfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm after search on FCC ID A98-TBP4266.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

FCC Regulations

This mobile phone complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

The product "N-04C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.825W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「トルカ」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「WORLD WING」「公共モード」「spモード」および「トルカ」ロゴ、「DCMX」ロゴ、「iD」ロゴ、「ｉC」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Powered by emblend™ Copyright 2010-2011 Aplix Corporation. All Rights Reserved.
  emblendおよびemblendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「ピクトマジック」「クイックショット」「MEDIAS／メディアス」「MEDIAS NAVI／メディアスナビ」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Exchange ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- PhotoSolid®、MovieSolid® およびそのロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 「Google」「Android」「Androidマーケット」「Gmail」「Google Calendar」「Google Maps」「Google Talk」「Google Latitude」「YouTube」「Picasa」および「Google」ロゴ、「Android」ロゴ、「Androidマーケット」ロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Allianceの登録商標です。

- Wi-Fi CERTIFIED™はWi-Fi Allianceの商標です。
- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Facebook」はFacebook, Inc.の登録商標です。
- 「Evernote」はEvernote Corporationの登録商標です。
- 「BeeTV」はエイベックス・エンタテインメント株式会社 の登録商標です。
- 「エブリスタ」は株式会社エブリスタの登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  「ATOK」は株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 「andronavi/アンドロナビ」、「ついっぷる」はNECビッグローブ株式会社の商標または登録商標です。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触 ＩＣ カードの技術方式です。FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。

  Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、
  http://www.n-keitai.com/guide/download/
  の「GPL・LGPL等について」をご覧ください。

• Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

Windowsの表記について

• 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  • Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  • Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  • Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

Adobe® Flash® Playerのご使用について

• 本製品に搭載されているAdobe® Flash® Player（以下「本ソフトウェア」といいます）は、著作権法によって保護されています。お客様は、本ソフトウェアを使用する際以下に掲げた事項をお守りください。
  ① 本ソフトウェアを複製し頒布しないこと。
  ② 本ソフトウェアを改変もしくは翻訳しないこと、または本ソフトウェアの二次的著作物を作成しないこと。
  ③ 本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルしないこと、または本ソフトウェアのソースコードの解明を試みないこと。
  ④ 本ソフトウェアの使用によって被った派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失に対する賠償請求をしないこと。

[Memo]

[Memo]

[Memo]

[Memo]

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒各種お申込・お手続き
※ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります
かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。
■機内モード：電波を発する機能を有効／無効にします。
■マナーモード：着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。
■公共モード（電源OFF）：電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。
■バイブレータ：電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00〜午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24 時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて 〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600＊**（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-04Cから、ご利用の場合は +81-3-6832-6600 でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151＊**

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について 〈ネットワークオペレーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414＊**（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-04Cから、ご利用の場合は +81-3-6718-1414 でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600＊**

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

Li-ion00

VEGETABLE OIL INK

再生紙を使用しています

'11.3（1版）
MDT-000159-JAA0 N